



外国人のための お知らせは こちらを 見てください。【やさしい日本語】→

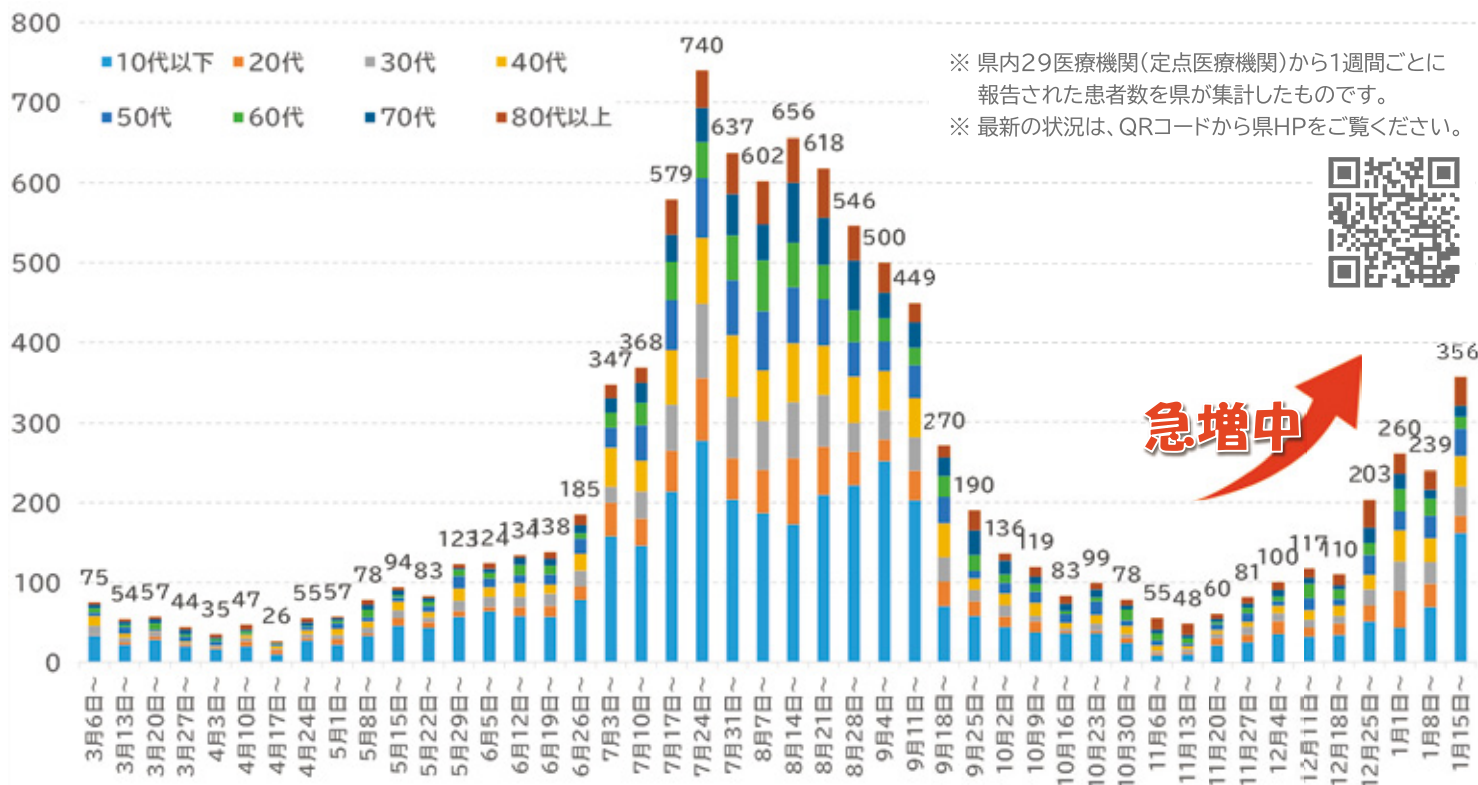
新型コロナウイルスの新規感染者数は、感染リスクの高まる年末年始を経て、今も着実に増え続けています。新たな変異株「JN.1」の出現、「第10波に突入」などのキーワードも聞こえてくる中、気を緩めることなく、場面に応じた感染対策を行いましょう。

また、3年にわたり続いた新型コロナワクチンの特例臨時接種(無料)が3月末で終わります。ワクチンを無料で受けられる最後のチャンスであり、感染者も増えていますので、ワクチン未接種の方は、改めてご検討ください。

接種費用 **無料**
3/31まで



■ 定点医療機関における県内の年代別患者数



■ ワクチン接種『無料』期間が終わります

3年にわたり続いた新型コロナワクチンの特例臨時接種(無料)が3月末をもって終了となり、**4月以降は有料となります。**「令和5年秋開始接種※1」や「初回接種※2」をまだ受けていない方は、無料でワクチン接種を受けられる最後の機会となりますので、今一度ご検討いただき、接種される場合は、個別接種を行っている市内の医療機関(右のQRコード)にて、ご予約ください。

接種券がお手元にない方は、コールセンター(Tel0120-05-0859)までご連絡ください。



個別接種を行っている医療機関(市ホームページ)



※1「令和5年秋開始接種」とは、3回目(生後6か月～4歳の乳幼児がファイザー社製ワクチンを使用する場合は4回目)以降の接種を指し、初回接種を終えて3か月以上が経過したすべての方が対象となります。(接種回数は1回のみ)

※2「初回接種」とは、1・2回目(生後6か月～4歳の乳幼児がファイザー社製ワクチンを使用する場合は3回)の接種を指します。

■ インフルエンザの流行も継続中

2019-2020年シーズンから4シーズンぶりに警報が発令されたインフルエンザは、一時に比べるとかなり少なくなりましたが、**県内の定点医療機関あたりの患者数は11.6人(令和6年第2週)となっており、注意報基準の10人を上回っています。**市内の学校でも多数の患者が確認されており、学級閉鎖なども発生していますので、引き続きご注意ください。



市ホームページインフルエンザ関連ページ

■ 4月1日以降について

- (ワクチン接種) ◆ 2024年4月1日以降、ワクチン接種は基本的に有料となります。
- ◆ 65歳以上の方および60～64歳で対象となる方^(※)には、秋冬に定期接種を受ける機会が設けられます。
- ◆ その他、任意接種として、時期を問わず自費で接種することができます。
- (医療費負担) ◆ 治療薬代や入院費の公費支援は、3月末で終了の予定です。
- (その他の情報) ◆ 上記のほか、新たに明らかとなった情報につきましては、市ホームページなどで随時、お知らせします。



(※) 60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

■ 発熱などの症状があるときは？ (新型コロナ・インフルエンザ共通)

まずは、かかりつけ医などに電話相談のうえ、受診しましょう。相談先に迷うときは、新型コロナウィルス感染症相談・支援センター(Tel0120-567-492)にご相談ください。また、陽性と診断されたときは、医師の指示に従い、仕事や学校は休み、自宅で安静にお過ごしください。

3月までの新型コロナウィルス感染症の取り扱いについて、詳しくは右上のQRコードより鳥取県が作成したチラシをご覧ください。



10月から3月の
取り扱い

相談窓口

受診相談、療養中の
症状悪化時の相談

新型コロナウイルス感染症相談・支援センター

※受付時間 9:00～17:15(土日・祝日含む)

TEL.0120-567-492 FAX.0857-50-1033

上記の時間以外 TEL.0857-26-8633

聴覚や発語の障がい等により音声
通話が困難な方は、専用フォーム
(右のQRコード)から文字入力に
よりご相談いただけます



夜間・休日の受診や
対処法の相談

とっとりおとな・こども救急ダイヤル

受付時間 平日19:00～翌8:00

土日・祝日・年末年始(12/29～1/3) 8:00～翌8:00

おとな#7119 こども#8000

感染対策や療養に
関する各種相談

鳥取県感染症対策局・各保健所

受付時間 平日8:30～17:15

県庁 TEL.0857-26-7799

米子保健所 TEL.0859-31-9329

対象者とそのご両親へ HPVワクチンで子宮頸がん予防

子宮頸がんは、子宮の入り口にできる癌で、主にヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因です。日本では、**新たに年間1.1万人が子宮頸がんと診断され、約1,000人が治療のために子宮を摘出し、約2,900人が命を落としています。**

HPVは、性交渉により感染するウイルスで、性交渉の経験がある女性なら、50%以上の人が感染するともいわれており、数年～十数年という時間を経て子宮頸がんを発症することがあります。



厚労省HPV関連ページ



HPVワクチンは、**子宮頸がんの原因を高い割合で防ぐ**といわれており、小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女の子及びH9.4.2～H19.4.1生まれの女性は、お手元にある予診票により無料でワクチン接種を受けることができます。

将来、後悔することがないように、対象者やそのご両親は、HPVワクチン接種を真剣にご検討ください。

〔HPVワクチンに関するお問合せ先〕 境港市健康づくり推進課 Tel0859-47-1042

(お問合せ先) **境港市コールセンター** 電話 0120-05-0859 (通話無料)

※一部のIP電話からは繋がらない場合があります。その際は、0859-46-0651(有料)へお電話ください。

受付時間 平日 / 8:30～17:15